

令和元年10月2日

## ドイツ連邦共和国GRANITEプロジェクトとの共催イベント デジタル化・IoT推進にかかる日独ネットワークワーキングミーティング開催について

香川大学では、ドイツ連邦共和国のフラウンホーファー研究所が中心となって進めているGRANITEプロジェクトと共同で、日独の企業・研究機関・自治体等の交流を促進するため、標記ミーティングを開催いたします。

今回は、第一にGRANITEプロジェクトについて知り、そして研究者や企業の方々とのネットワークを作ることを目的としており、共同事業等、今後の展開に繋げるための情報交換の場として開催いたします。このプロジェクトにご興味のある企業の方々のご参加をお待ちしています。交流会を含めて参加は無料です。

### プログラム

日時：2019年10月10日（木） 13:00～17:30

場所：香川大学創造工学部（高松市林町2217番地20） 1号館 1 1階ラウンジ

次第：13:00-13:15 開会挨拶

13:15-14:30 ドイツ側からのGRANITEプロジェクト説明（質疑応答）

ドイツ側にはGRANITEプロジェクトについての紹介をお願いしています。また、プロジェクトの中心となっているフラウンホーファー研究所についても紹介していただきます。

14:30-14:45 休憩

14:45-16:00 日本側のプロジェクト説明（質疑応答）

香川大学創造工学部からは工学系の研究概要（地域連携型研究、医工連携など）や海外インターンシップなどの紹介をします。

また、高松市のご担当者にスマートシティ構想について紹介していただきます。

GRANITEプロジェクトにご興味のある企業からのご発表もお願いしています。

16:00-16:30 意見交換（パネルディスカッション）

16:30-16:35 閉会挨拶

16:35-17:30 交流会（軽食、飲み物付き）

- ミーティングは英語でのものになりますが、発表のアブストラクトを用意し、それを日本語訳を付けるよう準備します。また、スライドの説明や進行においても日本語での通訳を適宜行う等対応します。

### GRANITEプロジェクトからの来日予定者

- **Alexander BUCHHOLZ and Patrick BUCHHOLZ**  
both are CEO of the companies Steinstosser (<https://steinstosser.com/en/> manufacturer of machine knives and wear parts) and Schmachtenberg (<https://steinstosser.com/en/> producer of shear blades and hammermill shafts) 産業機械メーカー（機械ナイフ、シェアブレード、ハンマーミルシャフト）
- **Stefan KONERMANN**, CEO of PlastControl (<https://www.plastcontrol.de/en/home/> manufacturer of automation systems for plastics extrusion) プラスティック形成
- **Dr. René REINERS**, Fraunhofer Institute for Applied Information Technology Associate Head of User-Centered Ubiquitous Computing, <https://www.fit.fraunhofer.de/en/fb/ucc/ubiquitous.html> フラウンホーファー研究所（GRANITEの責任者。利用者中心のユビキタスコンピューティング）
- **Constanze RITZMANN**, Fraunhofer Institute for Applied Information Technology  
Team member of the Design Thinking Factory – innovative, usable, applied <https://www.design-thinking-factory.fit.fraunhofer.de/en/design-thinking.html> フラウンホーファー研究所
- **Anja WENMAKERS**, CEO of public transportation corporation in Bonn (SWB Bus und Bahn <https://www.swb-konzern.de/unternehmen/geschaeftsfuehrung.html>) ボン市交通局
- **Sabine GANTER-RICHTER**, CEO, Lyogroup International, President of the German-Japan Friendship Association in Bonn プロジェクトのコーディネーター、ボン独日協会会長
- **Marco INVERNIZZI**, Lyogroup International, member of the German-Japan Friendship Association in Bonn プロジェクトのコーディネーター、ボン独日協会



お申込み及び問い合わせ先  
国立大学法人香川大学教育・学生支援室 国際グループ 篠原  
〒760-8521 香川県高松市幸町1番1号  
Tel: 087-832-1178 Fax: 087-832-1192

## GRANITEプロジェクトとは：

ドイツ連邦教育研究省(BMBF)は、日本、フランス、アメリカを対象として、2019年6月から研究マーケティングキャンペーン“The Future of Work”を開始し、10のプロジェクトを立ち上げました。このうち、GRANITE (German Research Ambassadors Network for Industrial Technology Endeavors) は、ドイツと日本の企業・研究者・自治体等のネットワーク形成を通して、主としてIoT分野における応用研究や技術活用の持続可能な日独のネットワークを創り、共同研究・開発や技術移転の促進をすることを目的としています。

## German Research Ambassadors Network for Industrial Technology Endeavors

GRANITE aims to initiate active dialogue between companies and research institutes and local administration and government in Japan and Germany. Establishing an innovative and sustainable network for applied research and technology will facilitate a joint effort for the exchange and transfer of knowledge between the two countries.

**Keywords:** プロジェクトの重点項目

- Industry 4.0 and digitalization インダストリー4.0とデジタル化
- Identifying SME potential 中小企業のポテンシャル
- User-centered design 利用者中心設計
- Change and system design 変革とシステムのデザイン

### Institution 中心となる研究所

Fraunhofer Institute for Applied Information Technology FIT  
フラウンホーファー研究所応用情報技術研究所

### Headquarters プロジェクト所在地

Sankt Augustin, Germany 上記FITの所在地

### Partners パートナーグループ・企業

- Clover Design
- Lyogroup International
- Mittelstand 4.0 - Kompetenzzentrum eStandards
- Plastcontrol GmbH
- Takashima Sangyo Co., Ltd.  
日本の高嶋産業（長野）もパートナー  
<http://www.takashima.co.jp/>

### Target country ターゲット国

Japan

### Contact 連絡先

Fraunhofer Institute for Applied Information Technology FIT

User-Centered Ubiquitous Computing  
Dr. René Reiners  
Schloss Birlinghoven  
53754 Sankt Augustin  
Germany  
+49 2241 – 14 3715



[rene.reiners@fit.fraunhofer.de](mailto:rene.reiners@fit.fraunhofer.de)  
[www.fit.fraunhofer.de/en.html](http://www.fit.fraunhofer.de/en.html)

インダストリー4.0は、ドイツ政府が主導し、産官学共同で進めている国家プロジェクトです。人類史上4回目の産業革命、つまり「第4次産業革命」を起こす取り組みとしており、そのコンセプトは「スマートファクトリー」（考える工場）です。日本のSociety 5.0に相当する概念です。

#### インダストリー4.0とは

インダストリー 1.0	1800年ごろ、イギリスでの産業革命 蒸気機関の開発により、機械産業が生まれる
2.0	1900年ごろ、アメリカでの第二次産業革命 発電、モーター、送電技術の発達により、電気機械と大量生産が生まれる
3.0	2000年ごろ、アメリカでのIT革命W Windows95を契機に、インターネットと電子データ化、CAEが誕生
4.0	2011年～ ドイツで提唱 AIとIoT技術により、人が必要ないスマート・ファクトリーの実現を目指す

(c) 2017 neuroeducator 12/25

#### ソサエティ5.0とは

ソサエティ1.0	狩猟社会 縄文時代
2.0	農耕社会 弥生時代～江戸時代：農業が発達し、村社会、武家社会が誕生
3.0	工業社会 明治時代～昭和：文明開化に伴い、機械産業が発達
4.0	情報社会 平成：IT革命にともない、インターネットや携帯電話が普及
5.0	超スマート社会 これから？：AI・IoT技術によるスマートシステムにより生活を支援する

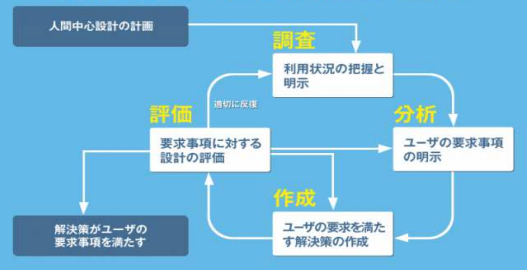
(c) 2017 neuroeducator 13/25

デジタル化やIoT（Internet of Things:もののインターネット）により中小企業 Small and Medium-sized Enterprise: SMEのポテンシャルの向上を図る。IoTにより、あらゆるモノや情報がインターネットを通じて繋がり、それらが互いにリアルタイムで情報をやり取りしつつ（相互協調）、人の指示を逐一受けずに判断・機能し（自律化）、システム全体の効率を高めるとともに新たな製品・サービスを創出する。（高度化）

User-centered design（利用者中心設計）は Human-centered design（人間中心設計）とも言われる。モノや技術中心ではなく、使う人間を中心に据えて、人の要求に合わせたモノ作りをするためのプロセスを体系化したもの。分かりやすく「モノのデザインからコトのデザインへ」と表現されることもある。

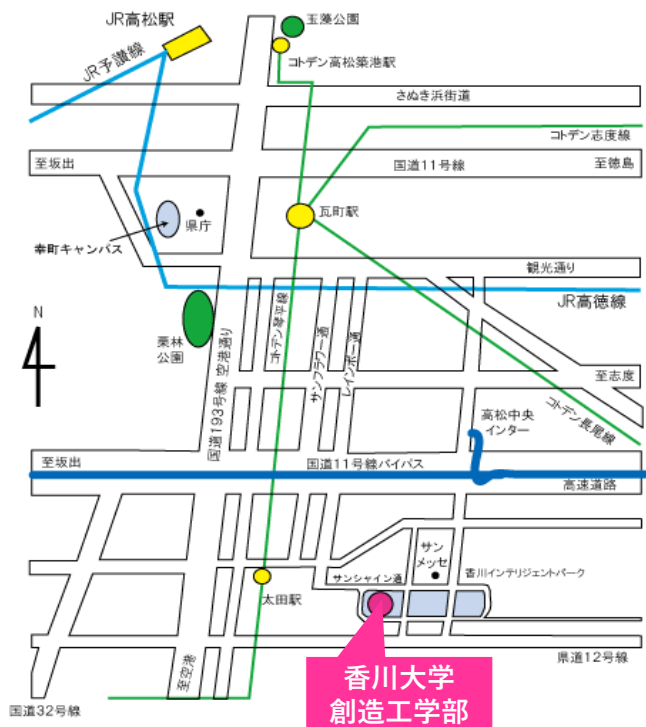
## HCDプロセス

ISO9241-210 (JIS Z8530) 人間中心設計の国際標準規格



**日時** 2019年10月10日(木) 13:00~17:30

**会場** 香川大学創造工学部 (高松市林町2217番地20)  
1号館11階ラウンジ



申込日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

**デジタル化・IoT推進にかかる日独ネットワーキングミーティング参加申込書**

参加希望	<input type="checkbox"/> 日独ネットワーキングミーティング <input type="checkbox"/> 交流会 ※両方の参加をご希望される方は、2つにチェックを入れてください。		
会社・団体名			
職名		氏名	
職名		氏名	
職名		氏名	
TEL		FAX	
E-mail			
来校手段	<input type="checkbox"/> 自動車入構希望		<input type="checkbox"/> その他
その他 (ご要望があればご記入ください)			